

ワークショップ 9
女性に対する暴力をなくす

EMPOWERING
YOUNG WOMEN TO
LEAD CHANGE

▶ a training manual



女性に対する暴力 教育 | エンパワー | 行動

はじめに

この冊子は、女性に対する暴力について、若い女性の教育を目的としたワークショップを紹介するものです。

女性に対する暴力とは；

身体的、性的、精神的、孤立、威圧、脅迫などを伴う虐待や脅迫行為の関連形態です
男性が力により女性を管理下に置くことです

遺伝や病気によるものではなく、家庭と社会の在り方を通して、また、家庭や社会における風潮の強要により、身についていくものです

男性が親密な関係の女性を管理する権利を持つという風潮、また、管理するために力を行使する権利があるという風潮を、社会が許容することで強化されるものです

先住民の女性たち、移住女性たち、難民女性たち、武力下にいる女性たち、障がいのある女性たち、身柄を拘束されていたり施設にいる女性たち、少女たち、若い女性たち、高齢の女性たちなど、特定の集団の女性たちは、より暴力にさらされやすいリスクにあります。

情報収集の場

世界 YWCA および世界各地の YWCA www.worldywca.org

国連人口基金 (UNFPA) www.unfpa.org

国連女性開発基金 (UNIFEM) www.unifem.org

「国連女性に対する暴力の撤廃に関する宣言」(国連人権高等弁務官事務所) www.unhchr.ch

ファシリテーターの手引き

1. 暴力の問題を扱うので、参加者たちがこのアクティビティに難色や動揺を示すかもしれません。そのため細心の熟慮と気配りが不可欠です。不測事態や支えを必要としているどの人にも対応できるよう、入念に準備をします。参加者たちの経歴や、家族間で起きている、または起きたことについて常に把握しているとは限らないからです。

参加者の中には、暴力の目撃や経験のある方がいるかもしれません。

参加者のグループに対し、または個人的にファシリテーターに話をしたい、あるいはしなくない方がいるかもしれません。また、この活動に参加するまで、彼女たちの経験が「虐待である」と認識されていない場合もあります。

あらかじめ、最寄のYMCAやDVに関する他の専門NGOや公的機関などに、暴力を受けたことのある女性向けのカウンセリングプログラムがあるか確認すること、また、必要に応じて他の女性団体や専門家と確認を取れるようにしていくことが必要です。参加者たちへもその情報を共有します。

2. 参加者一人ひとりに、参加型ワークショップの原則を理解させます。原則とは、誰もが尊重されること、誰のいかなる発言も信頼をもって適切に扱われること、発言することで不快になるような重圧を感じさせないこと、です。

ワークショップについて

いくつかのアクティビティから成るワークショップです。

対象:

10-20人のグループ

目的:

- 女性たちへの暴力が、世界的にどれくらい広がっていて、多様であるかを探り、理解するためのものです。
- 女性たちへの暴力が、人権の侵害であると理解するためのものです。
- 参加者が、この問題に立ち向かうためのアイデアを見出すためのものです。

必要なもの

- 筆記用具とメモ帳
- フリップチャート紙(模造紙)
- 全参加者分の画用紙(*余分があるとよい)
- 多色のマーカー
- 全参加者分のイスと飲み物(水)
- 壁や展示板など、フリップチャート紙や成果物の展示スペース
- セロハンテープや画鋏など、フリップチャート紙や成果物を貼るもの

あると便利なもの:

- 休憩時の茶菓子
- 昼食(終日のプログラムの場合)
- マーカー類、ハサミ、のり、ビーズ、葉、種、のり(ラメ入りなど)、再利用の包装紙、端切れ布、廃雑誌など

アクティビティ1: 暴力の事例

時間:1時間

目的:

女性に対するさまざまな形態の暴力を演劇にし、この問題の議論の活性化をはかります。

必要なもの

- 暴力行為のシナリオ(次ページ参照)
- フリップチャート紙(模造紙)
- 多色のマーカー
- 関連資料(配布する)

準備:

- あなたの地域社会で起こっている女性に対する暴力を調査し、グループに情報や統計などを用意します。
- あなたの地域社会で目立って顕著な暴力に焦点を当てたシナリオ、または、あなたが焦点を当てたい暴力に関するシナリオを選択します。
- アクティビティのはじめに朗読や演技をしていただくよう、数人の参加者に事前にお願ひしておきます。
- 朗読や演技をする参加者に配布する、暴力に関するシナリオをコピーしておきます。
- イスを円の形に並べ、フリップチャート紙を皆が見える位置に置きます。

アクティビティの概要:

あらかじめ頼んでおいた数人が、選択した暴力に関するシナリオを、朗読や演技で他の参加者に発表します。発表をもとに、女性に対する暴力について話し合います。

ファシリテーターの手引き:

1. 暴力がどのように若い女性に影響を与えるかを、朗読や演技を通して描くことを説明します。
2. 担当の参加者が朗読(演技)をします。
3. 朗読者(演技者)に、読んでみて(実演して)の感想を尋ねます。
4. 参加者に、どんな形態の暴力が描かれていたか尋ねます。登場したそれぞれの人物は、

- 暴力を受けていましたか？何か類似点はありましたか？
5. フリップチャート紙(模造紙)に、参加者が発言した重要な言葉を書き出します。
 6. 異なる形態の暴力について話します。そして、どのように**身体的・感情的・精神的・性的、そして性別に基づいた**暴力が女性に対して振るわれるのかを説明します。
 7. 若い女性たちが考える暴力について、出てきた違いを書き留めてください。
 8. 可能であれば、あなたの身の周りの女性に対する暴力に関する情報や統計を紹介してください。

暴力に関するシナリオ

以下の物語は事実に基づいて編集されています。

シナリオ 1 交際者から虐待に遭っている 10 代の少女/友人。彼との交際以外の繋がり断絶。

私は大学生で、8ヶ月間交際している彼がいます。以前はYWCAの仲間たちと色々な活動に参加して、バスケットボールをしたり、女友だちと映画やショッピングに行くのが大好きでした。しかし彼は、私のそのような行動を快く思っていません。彼は私を独り占めしたい、と言い、彼はそんなに私を愛してくれているんだと、嬉しく思いました。たまには友だちと一緒にいたりスポーツができたかと思いますが、そうすると彼を怒らせてしまい、私は彼に捨てられたくないと思っています。

シナリオ 2 配偶者から身体的虐待を受けた若い既婚女性

昨年私は結婚しました。お見合い結婚で、両親の選択を受け入れることを躊躇しましたが、素敵な式を挙げました。始めはとても順調でしたが、数ヶ月前、仕事で帰宅が遅くなったとき、夫が激怒しました。彼は、私がどこで誰といたのかを知りたがりました。私は彼の反応にとっても驚きました。彼の勢いは止まらず、私が部屋をきちんと掃除していない、夕飯の準備も出来ていない、と批判を始めました。私が彼に手伝ってくれてもいいんじゃない?と持ちかけたら、彼は「反抗的だ」と叫び、私を思い切りひっぱたきました。私が驚き泣き出したら、彼は殴ったことに対し、深く謝罪しました。二度とそのようなことはしない、と言いました。しかし1週間後、彼はまた怒り、私を殴りました。状況は悪化し、今では彼は、私に仕事を辞めてほしいと言い、また、私が彼を怒らせるようなことをしたのだと言って私を殴ります。私は、彼の機嫌が更に悪くなるのが怖く、どうしていいかわかりません。母親は、夫と一緒にいることが妻の努めである、といます。

シナリオ 3 性暴力を受けた若い女性

その人とは、友人の誕生日会で知り合いました。会話を始め、彼を素敵な人だと思いました。雑踏の中、彼に少し外の空気を吸おうと誘われ、彼が私の手を取り、一緒に外に出ました。辺りには誰もいませんでした。彼が私にキスしようとしたのですが、会ったばかりなので断りました。しかし、彼は言うことを聞きませんでした。軽く笑い、「堅いな」といいました。私は怖くなり激

怒し、やめるように言いましたが、乱暴に地面に押し倒されました。私は叫び、逃げ出そうとしましたが、口をふさがれ、覆いかぶさられ、私の意思と裏腹に強姦されました。私は慙愧(ざんき)に耐えられませんでした。これは彼の過ちであり、違法行為です。しかし、誰が私の言い分を信じるでしょうか？時折、あれは私に落ち度があったのでは、と思い悩むことがあります。

シナリオ 4 妻の勉強や就職を認めず、家計に責任を持たず、日常的に妻を屈辱状態におく配偶者

夫は私が働くことを認めません。彼は、それは夫の務めで、自分が家長であり、そもそも誰がお前を雇うのか、といいます。確かに、私たちは生活に困っていません。しかし私は、幼い娘の世話と同様に、働くことにも関心があります。私は、鳥かごの中の鳥のようです。私たちは素敵な家に住んでいて、彼は私に小額のお小遣いをくれますが、彼がお財布を握っています。私は、クレジットカードすら持っていません！彼は、よい妻であること、何でも言うことを聞くことが私の務めで、私に幾らのお金が必要なのか一番よくわかっているといいます。時折、私は食料品や必需品の購入に十分なお金を持っておらず、とても恥ずかしい思いをします。私がもう少しお金を、とお願いすると彼は憤慨し、私がお小遣いを生活費に使っていることも信じてくれません。彼は、すべて管理したいのですが、私はそれを愚かだ、と感じています。

シナリオ 5 配偶者に性行為を強要される女性

この 5 年間の私の結婚生活は、夢のようで幸せいっぱいでした。2 ヶ月前、夫が浮気をしていることがわかりました。私たちは、コンドームを使うことに決めました。彼が昨夜、もう浮気をしていないと誓う、そして今後はコンドームを使用しない、と申しました。私は彼との性行為を拒みましたが、彼は「婚姻上の権利」だとして性行為を要求しました。私は、どうしたらいいかわかりません。彼は私の配偶者です。私には、彼と一緒に寝ることを拒絶する権利はないのでしょうか。

シナリオ 6 実父から性的虐待をうけている若い女性

夜のシフトで母親が仕事に出ると、父親が私の部屋に入ってきて、ペニスを触らせます。私はそんなことをしたくありませんが、父親は、私がこのことを誰かに話したら家族の面目を潰すことになる、といいます。誰が私を信じてくれるのでしょうか。皆が父親を愛しています。私は耐えられません。

シナリオ 7 不当に責められ、殺されるのでは、と恐れている女性

病気の祖母を見舞い、いつもより長く祖母宅にいた私は、乗るはずのバスを逃しました。夕暮れ時で、私がバス停につくとそこに知り合いの男性がいて、私はほっとしました。雨が降り始め、彼はカサを開き、私と一緒に入れてくれました。その様子を誰かが見ていたようで、私が家につくと、夫は私が他の男性と一緒に外出していたと叱責しました。私は説明しようとしたのですが、彼は激怒して、私に仕返しをしてやる、と言いました。別の男性といたために暴行されたり殺されてしまった妻の話聞いたことがあるので、私は恐怖を感じています。

シナリオ 8 男性上司による性的嫌がらせを受けている若い女性

打ち合わせが終わり皆が退室した後に、私は毎回上司に部屋に残るように言われました。仕事の話をしているとはいえ、彼は息遣いがわかるほど近くにきて、何度か私は壁に押し付けられました。また、彼は辺りに誰もいないときには言い寄ってきてとても不快です。でもどうすればいいのでしょうか。彼は上司です。多分、私が過剰反応しているだけです。その後、彼は二度と私に触れませんでした。

参考資料 3&4

異なる形態の虐待とは？

次に挙げるものはすべて、女性の尊厳と保護の権利を侵害する行為で、虐待および暴力行為とみなされます

身体的: 叩く、突く、押す、倒す、殴る、蹴る、噛みつく、など

性的: 性行為を強要する(婚姻関係も含まれます)

感情的: (不快にさせるような)名前を呼ぶ、悪口を言う、侮辱する、など

精神的なものも暴力に含まれます

脅迫: 「もし・なら殺す」

威嚇: 身振り、外見、破壊行為

孤立: 他者と面会や会話をさせない、外出を許さない

そのほか

経済的: 働くことを許さない、お金の管理をさせない

女性に対する暴力の生涯過程

段階 暴力の種類

出生前 男女の産み分けによる中絶、妊娠中の殴打が引き起こす出産後のさまざまな影響

幼少期 女兒殺害(男児優位の文化下で起こる女兒殺害も含む)、身体的・性的・精神的虐待

児童期 女兒の縁組、女性器の切除(世界で因習として行われている地域があります)、身体的・性的・精神的虐待、近親相姦、児童買春やわいせつ行為

青年期・成人 デート時や偏愛による暴力(例:デート・レイプ(交際相手の意思に反してセックスを強行すること)、経済的に強要力を持つ性行為(例:お金を見返りに資金力のある男性と性行為をすること)、近親相姦、職場での性的虐待、強姦、痴漢、セクハラ、売春やわいせつ行為の強要、女性や少女たちの人身売買、同伴者(パートナー)による暴力、夫婦間での強姦(夫婦間でも相手の意思に反せば強姦とみなされます)、持参金虐待・殺人、同伴者による殺人、精

高年齢期 神的虐待、障がいを持つ女性に対する虐待、妊娠の強要
「自殺」に追い込む、夫を亡くした女性の金目当ての殺害
身体的・性的・精神的虐待

参考情報: Violence Against Women Information Pack (女性に対する暴力に関する情報)世界保健機関(1997年)

アクティビティ 2: グループ作業

暴力の調査と撲滅のためのブレインストーミング

時間:1 時間

目的:

参加者たちに、暴力を防ぐ方法を考える機会を与えます

必要なもの:

- ファシリテーター1名
- フリップチャート紙
- マーカー

準備:

イスをまるく並べ、フリップチャート紙を皆が見える位置に置きます。

アクティビティの概要:

少人数のグループで、暴力について、その影響と防ぐ方法を討論します。

ファシリテーターの手引き:

1. 参加者に少人数のグループを作るよう指示します。
2. 各グループ5分間で、進行役と報告者を選出します。
*注釈:これからの討論はとても個人的なことが含まれ、参加者は誰も、プレッシャーを感じて発言する必要はないことを、参加者一人ひとりが認識した上で進めてください。
3. グループ討論での質問事項
 - a. あなたの地域や国全体で、どんな女性に対する暴力が横行していますか？
 - b. なぜ、女性に対する暴力は行われるのですか？
 - c. どのようにして撲滅できますか？
4. グループ討論に45分間与えます。(フリップチャート紙にカラー・マーカーで討論の重要点を「記録」します。)
5. 最後にグループ報告と、全体での討論の時間を持ちます。
6. まず、各グループが報告をします。ファシリテーターは各グループの報告を比較するなど

討論を先導し、このアクティビティへの感想なども引き出します。

7. 暴力に関する数々の俗説を指摘し、今回のアクティビティをまとめます。

俗説とは、例えば；

- a. 暴力は、貧困や無学の家庭、大都市や小さい村だけで起こる。
- b. 飲酒や薬物使用が、女性に対する暴力の主な原因だ。
- c. 女性の服装や夜遅い外出のせいにする。女性は性行為やキスの途中で行動を拒絶してはいけない。また、女性に向けられた「仕方がない」あるいは「自業自得である」という見方。

8. もし時間があれば、上記の俗説についても討論をしてください。

アクティビティ3： 行動を誓う

時間：2 時間

目的：

全参加者が女性に対する暴力の幅の広さを確実に理解し、行動のためのアイデアを形にします。

必要なもの：

- ファシリテーター1 名
- フリップチャート紙
- マーカー

準備：

イスをまるく並べ、フリップチャート紙を皆が見える位置に置きます。

アクティビティの概要：

少人数のグループで、参加者たちは、女性に対する暴力撲滅の活動の対策を練り、それをTVのニュース放送のように紹介します。

ファシリテーターの手引き：

1. 参加者たちをグループに分け、対策考案や女性に対する暴力を撲滅するためのアクティビティを考えてもらい、実際おこなってみます。
2. TVニュースのように、それぞれの対策を最後に発表することを、参加者に伝えます。
3. 参加者たちは、5-10分程度のTVのニュースプログラムを1時間で考えます。若い女性たちがどのように暴力の問題を前向きな行動に転化したかを伝える内容で構成します。
4. グループに、次のそれぞれが何をすべきか、また、何ができるか発表の中で提案することを勧めます。
 - a. YWCA やあなたが所属する地域活動、学校など
 - b. 地域社会

- c. 公的機関/政府/国連機関
 - d. 男性や少年たち(また、彼らへの働きかけ方について)
 - e. 友だちや近隣住民たち
5. 準備時間の終わりに、フリップチャート紙にアクティビティのアイデアを各グループで記録し、紹介してもらいます。
 6. 各グループのアイデア紹介の後、おこなったアクティビティについて、また、TV ニュース形式の発表で提案された解決策について、参加者たちに討論してもらいます。
 7. 紹介されたそれぞれに異なる対策を検討し、アイデアをまとめます。

アクティビティ 4: より効果的な方法選び

時間: 1 時間

目的:

女性に対する暴力の撲滅活動の中で、より効果的なものから優先順位をつけます。

必要なもの:

ファシリテーター 1 名

準備:

特にありません

アクティビティの概要:

小人数のグループに分かれ、女性に対する暴力撲滅のための上位 3 つの活動を決めます。

ファシリテーターの手引き:

1. 先のアクティビティで紹介された対策の中から、参加者たちは 3 つ選択し、グループで作業することを説明します。
2. 参加者たちをグループに分け、女性に対する暴力撲滅のための対策、上位 3 つを選択するよう指示します。
3. 30 分後に全体で集まり、各グループに選択した上位 3 つの行動を尋ねます。ファシリテーターは、グループから出された考えを、全体で討論するようリードします。例えば、出された考えはグループ全体で相似していますか？ 総意を取りまとめましょう。必要に応じて、全体での投票で上位 3 件を決めます。
4. 今回のワークショップの参加者たちが可能ならば、実際に活動を推進するボランティアを募り、参加者を再招集してプロジェクトを計画します。

アクティビティ 5: 行動に移す

時間:1 時間

目的:

参加者から、このワークショップへの感想や意見を引き出します。

必要なもの:

- ファシリテーター1 名
- フリップチャート紙
- マーカー
- 2 色の付箋(またはメモ用紙)、セロハンテープ

準備:

イスをまるく並べます。

「一番役に立ったもの」「改善の余地があるもの」と見出しをつけた 2 枚のフリップチャート紙を壁に貼ります。

アクティビティの概要:

参加者のうち4名が、4つの異なる暴力の形態についてシナリオを朗読します。シナリオに基づき、女性に対する暴力について、グループ討論します。

ファシリテーターの手引き:

1. 今回おこなったアクティビティ全体を簡単に見直し、女性に対する暴力という複雑な問題を解きほぐすため、参加者がどれほど一生懸命取り組んだかに焦点をおきます。
2. 一番役に立ったもの、また、改善することで先々の活動に組み入れられるものについて、参加者に感想や意見を求めます。
3. 2 色の付箋、またはメモ用紙とセロハンテープを配布します。
4. 1 枚に「一番役に立ったもの」、もう 1 枚に「改善の余地があるもの」と書いた 2 枚のフリップチャート紙を壁に貼り、参加者にそれぞれコメントを記入した付箋を貼ってもらいます。
5. コメントを皆で共有します。
6. アクティビティの終了です。

さまざまな方法で、私たちは女性に対する暴力に立ち向かえることがわかりました。
「行動しよう」を読み、あなたの考えを付け加え、女性が暴力から自由になる行動を起こしましょう。規模の大小を問わず、すべての行動が重要なのです。
世の中を変えるための力を持ちましょう。

行動しよう

ジェンダーに基づきいかなる暴力を決して許さず・見逃さないことを誓い、行動しましょう。

虐待を見て見ぬふりをするのをやめて、DV や家庭内暴力を目撃した場合は必ず通報するというキャンペーンを、まずはあなたの身の周りで始めましょう。

あなたの地域の男性や少年たちに呼びかけ、「イイトコは女性を殴らない」キャンペーンを始めましょう。そして、男性自身が暴力をいかに抑制できるか、怒りと闘争の感情をコントロールするための研修やプログラムを実施しましょう。

行動のツール: 街頭演劇

なぜ、街頭演劇か

学校の渡り廊下やホール、繁華街や公共の公園などは、街頭演劇を通して女性に対する暴力について人々に知らせることができる格好の場です。

暴力に関する短編劇を演じることで、女性に対する暴力が「家庭の問題」や「個人の」問題に留まらず、地域の問題として扱われるよう、意識を高めることができます。

街頭演劇:お役立ち情報

演劇で扱う問題について、また、計画している今後のイベントなどを紹介したチラシを配布します。

見物者からの質問に答える担当を決めておきます。

より多くの人々の印象に残るよう、短い休憩を入れながら、短編スキットを数回実演します。休憩時間には、もちろん見物者との質疑応答の機会があります。

メッセージは、簡潔で説得力のあるものにしてください。そうでないと、通行人に気軽に立ち止まってもらえません。

必要な場合、必ず事前に施主から場所の使用許可を取ってください。

若い男性たちの力も借りましょう。暴力に反対の態度を示し、他の男性たちに勇気と力を与える演技をすることに一役買ってもらいましょう。

街頭演劇が、男性たちを攻撃する行事にならないように厳守してください。女性に対する暴力の撲滅に、男性や少年たちの協力は必要不可欠です。

仲間の男性たちに、見物者との交流や掛け合いをしてもらいます。そうすることで、男性は敵ではなく暴力撲滅運動の仲間だということを明確にでき、他の男性たちも参加しやすくなるでしょう。

あなたの活動へのボランティア登録や、暴力から逃れた女性のシェルター支援など、見物者を行動へと導く機会や情報をその場で提供します。また、メーリングリストなどの登録用紙や、今後のイベント情報なども準備すると良いでしょう。

Empowering Young Women to Lead Change

2006年発行
編集・発行：世界YWCA
協力：国連人口基金 (UNFPA)

ワークショップ9：女性に対する暴力をなくす

翻訳協力 春井多美恵

2009年10月発行
日本語版発行 日本YWCA
編集 日本YWCA 国際コミュニケーション・チーム
〒106-0008 東京都新宿区三栄町6番地12 2階
TEL: 03-5367-1872 FAX: 03-5367-1873
E-mail: office-japan@ywca.or.jp

EMPOWERING YOUNG WOMEN TO LEAD CHANGE

an easy to follow resource manual designed to enable
young women to prepare and facilitate workshops

► a training manual



United Nations Population Fund
220 East 42nd St. New York, NY 10017 U.S.A
Tel 001 212-297-5000
www.unfpa.org



World YWCA 16, Ancienne Route
CH - 1218 Grand-Saconnex, Geneva, Switzerland
Tel (+41) 22 929 6040 Fax (+41) 22 929 6044
Email: worldoffice@worldywca.org
www.worldywca.org